



## 食を通じて、世界中の人々を幸せにするために 今後も「モスの心」を大切にしていきます。

モスグループは、経営理念に「人間貢献・社会貢献」を掲げ、ステークホルダーの皆さまにモスならではの価値を提供することを目指し、事業を展開してきました。こうした理念、つまりこれまで私たちが大切にしてきた価値観に賛同していただけるステークホルダーの方々と、相互理解を図り、良好な関係を構築していることが、モスグループの大きな強みとなっています。

例えば、モス独自の「フランチャイズ・ボランタリー・チェーン」もその一つです。全国の店舗が連携し合う「モスバーガー共栄会」の活動を本部が支援することで、強い絆で結ばれたフランチャイズチェーンを構築しています。

またお取引先でも、例えば野菜の生産者とは単にお取引だけの関係にとどまるのではなく、お互いに栽培方法や収穫量などに関して改善提案し合い、一緒になって品質向上に取り組んでいます。さらに、海外事業においても、やみくもに事業エリアを拡大するのではなく、あくまでもモスの価値観に共感いただける現地パートナーとの協働を原則として展開してきました。

こうした皆さまとの関係づくりには「直接対話」が欠か

せません。私自身も、お客さまをはじめ、加盟店のオーナーやキャスト(パート・アルバイト)、株主の方などの顔の見えるコミュニケーションを通じ、リサーチデータではわからないようなさまざまな気づきを得てきました。

創業から45周年を迎えるにあたり、モスの加盟店オーナーも本部のメンバーも、世代交代が進みつつあります。モスの将来を担う若い世代のメンバーにも、私たちが大切にしてきた価値観を確実に引き継いでいきたいとの考えから、この度、経営理念をはじめとする理念体系を「モスの心」として再整理しました。

企業に対する社会的要請がますます強まる中、「モスの心」は当社のすべての取り組みの根幹となるものです。今後も、健康経営、ダイバーシティなどの社会課題への対応を含め、あらゆるステークホルダーの皆さまに対して価値を創造し続ける企業でありたいと考えています。

株式会社モスフードサービス  
代表取締役会長

あ の 志



## ステークホルダーの皆さまと価値を分かち合うために、 中長期的に、着実に成長し続ける企業を目指します。

モスグループがステークホルダーの皆さまと価値を共有し続けるためには、変化する社会環境の中でも企業として発展し続ける必要があります。そこで私たちは、50周年を迎える2021年度のありたい姿を長期経営目標として定め、2016年度からの新たな中期経営計画をスタートさせました。今回の中期経営計画の策定にあたっては「計画ありきではなく、まずは心が重要」ということを社員、そして自らにも言い聞かせました。「モスの心」——つまり、経営理念や創業の心、基本方針、経営ビジョンという共通の価値観を大切にしながら、時代の変化に着実に対応していく、言い換えれば心と科学のバランスを重視しました。

具体的な成長戦略として、まず「国内モスバーガー事業の基盤強化」を掲げ、既存店売上で前年比101%を達成し続けることを目標としています。2015年5月の価格改定時に加盟店と危機感を共有し、「価格以上に満足いただける商品をつくらう」と定番商品の磨き上げを徹底することで、商品価値の向上に一丸となって取り組んでまいりました。今後も、国内モスバーガー事業を成長の

土台にしていきます。

一方、「海外モスバーガー事業」は、今後の成長エンジンと位置づけ、400店舗達成という目標を掲げています。現在、台湾やシンガポール、香港では順調に出店しており、モスバーガーブランドも定着しています。この成功事例を活かし、他の地域でも出店計画を慎重に検討していきます。また、「新規事業」では、新たに立ち上げたミアクッチーナをはじめ、今後、第2の柱となる新ブランドの育成を目指しています。

こうした戦略を着実に遂行して、「世界で認められる日本のおいしさとおもてなしを確立する」という全社ミッションを実現することを目指しています。さらに、50周年、そしてその先のさらなる飛躍のために、ステークホルダーの皆さまとのつながりを深め、企業価値を高める努力を続けてまいります。

株式会社モスフードサービス  
代表取締役社長

中村栄輔